

平成30年2月28日
四国地方整備局 四国技術事務所

～大災害に備えて～

「空輸対応型バックホウ」の分解・組立訓練を実施

四国技術事務所では、「空輸対応型バックホウ（遠隔操縦式）」※を災害に備え保有しています。

紀伊半島大水害や熊本地震等の大規模な災害現場では、現場の安全を確保するために遠隔操縦式のバックホウを使用しました。

大規模な災害が発生し被災現場への道が寸断された場合には、バックホウを分解し、被災現場までヘリコプターで運搬、現場にて組立する必要があります。

そこで今回、ヘリコプターで吊り上げできる重さまでバックホウを分解し、組み立てる訓練を行います。

訓練期間 平成30年2月23日（金）～3月7日（水）

訓練場所 香川県高松市牟礼町牟礼1545
四国地方整備局 四国技術事務所 構内

訓練内容 ① 分解訓練（近隣の整備工場） [2月23日～3月1日]
② 現地を想定した組立訓練（四国技術事務所） [3月2日～7日]

一般の方の見学は、3月6日（火）を予定しています。

詳細については、お問い合わせ下さい。

※「空輸対応型バックホウ（遠隔操縦式）」とは、ヘリコプターで吊り上げ可能な重さまで容易に分割できる構造をしたバックホウで陸路では被災現場に輸送できない場合に活躍します。

また、遠隔操縦式であり、二次災害の発生が予想される災害現場でもオペレータはバックホウ本体から150m程度離れた安全な場所から無線で操縦できる機能を有しています。

本施策は、四国地震防災基本戦略及び四国圏広域地方計画の「№1 南海トラフ地震を始めとする大規模自然災害等への「支国」防災力向上プロジェクト」の取組に該当します。

国土交通省 四国地方整備局 四国技術事務所 TEL（087）845-3135（代表）

◎：主な問い合わせ先

四国技術事務所 副所長

二川 義人（内線204）

◎施工調査・技術活用課長

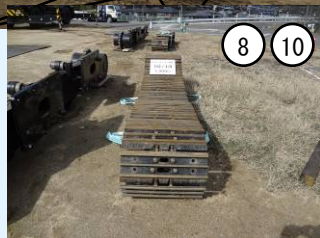
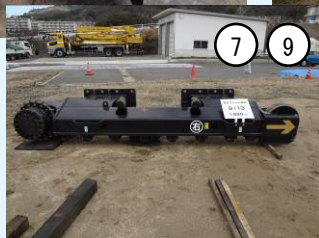
渡部 勇（内線381）

「空輸対応型バックホウ」 (遠隔操縦式)



機械の概要

バケット容量	: 1.0m ³
機械質量	: 22,400kg
全長	: 9,460mm
全幅	: 2,980mm
全高	: 3,030mm (寸法は輸送時の数値)
操作方式	: 標準操作方式 (ISOパターン)
遠隔操縦性能	: 通信範囲 約150m
その他	: ヘリコプターで運搬可能な2.8t/パーツ以下に分割が可能



バックホウを13個に分解した時の各パーツ写真



「⑤パーツ」組立状況写真



「⑥パーツ」組立状況写真

「災害現場における空輸対応型バックホウの活躍

(H28 熊本地震災害復旧現場 (熊本県阿蘇郡南阿蘇村))



目視での遠隔操作



モニターでの遠隔操作

平成28年4月14日発生地震による災害後復旧現場では、国道上への法面崩落土砂の撤去作業を、安全と思われる場所から遠隔操作にて、作業を実施しました。

分解・組立訓練の会場案内

